

昨日、市民生局科弾！抗議申し入れ

贈収員事件を口実とする金崎医療福祉切り捨て攻撃を許さんぞ

アッパアオカン仲間への差別・排除暴行、ケタオ
 千精神病院への収容・抹殺を許さんぞ

きのあ、三十人のなかまが、西成区福祉委員とケタ
 オ千精神病院・木島とのワイロ事件について、大阪
 市民生局に責任追究におこかけた。
 局員は保科課長はトニコ、二人の保科がごまかす。
 「本件は残念なコト、申し謝罪はコトと思ってる」と
 アイサツしたが、あくまで「要求文書には応じない、申
 し入れ趣意は上司に仰せおきます」という以上には
 ダンマリをきめこむ態度であった。市吏相のキツク
 ケタオ千病院のヒドさに怒りの声が続く中で、こちら
 らからはとくに、①金の患者を「人間」として扱って
 いない②福祉切り捨て攻撃を許さない③市民生局
 は厚労省の福祉削減攻撃に対し、ス、を押しこ
 金の医療を良しをはかれ④精神病院を「軍」
 などの臭かきめて強請した。
 最後に「抗議申し入れ書」に対する市民生局の見解を二週面
 以内に出せ、と迫り、保科は「三週面以内には解答を出せるよう
 努めます」とだけ約束した。

抗議申し入れ書(趣意)

贈収員事件は金崎労働者への差別から患者を商品化するという医
 療資本と福祉行政の癒着・腐敗のあらわれである。今金崎は人口増加
 と不況アッパアオカン地獄となっており、厚労省は民主同盟事件を利用
 して福祉削減をねらっているが、遂に早急な対策を講ずることを望ま
 本件は三原因から三原因にあらわす、見解を述べ
 ①金崎の市の公立総合病院をつくれ、指定民間病院の医療内容監視
 百強めろ ②金の福祉職員体制の充実強化をはかれ ③人権無
 視の精神医療体系の改革・閉鎖的精神病院の開放化

秋の医療生活相談(金崎医療連絡会議)
 10月16日(木) びよあきのなかま
 11月6日(木) 障や高令でアッパ困窮
 11月20日(木) こいなるなかまは相談に
 朝8じ~9じ30分・医療センター前

金崎解放
 金崎市労働者組合
 電話 86.10.9日 632-4273